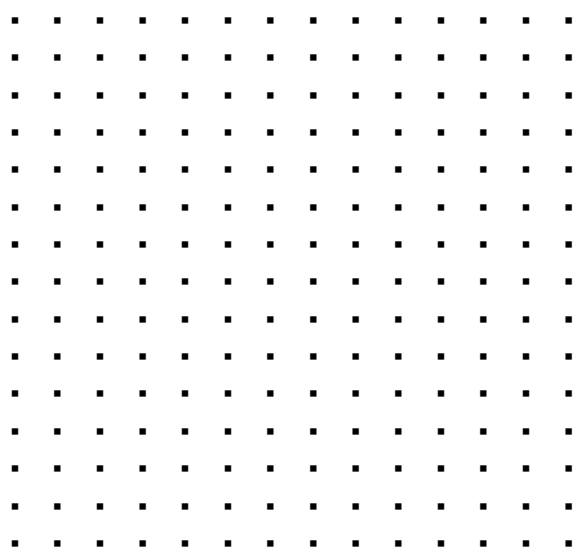


令和 6（2024）年度

中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館
年報



目次

展示事業	2
I 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館	2
1 常設展	2
2 常設展②「木内克の造形世界」	4
3 企画展「みて、ふれて、彫刻巡回展示のなかまたち」	5
4 企画展「開館 30 周年記念「旭川市彫刻美術館 30 年のポスター展」」	7
5 企画展「新収蔵品展 ―旭川ゆかりの彫刻家たち―」	7
II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）	9
1 企画展「第 19 回パレットのなかま展」	9
2 企画展「川からのまちづくり展 「北彩都あさひかわ」の 30 年」	9
3 企画展「Designers from A to Z ―織田コレクションから―」展.....	9
4 企画展「「北の造形」展 ～鈍色(にびいろ)の空と遠くの山」	10
5 企画展「Design Inspirations From Small Beginnings to Masterpieces ― 織田コレクションから ―」	11
6 企画展「「おかえり」彫刻巡回展示の作品たち展」	11
教育普及活動.....	13
彫刻巡回展示事業.....	15
中原悌二郎賞関係事業	16
旭川彫刻フェスタ.....	17
野外彫刻維持管理事業	17
その他の事業.....	18
印刷物の発行.....	19
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会	19
管理作品	19
ボランティアの会「みゆうず」	22
観覧者数	22

展示事業

I 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館は、日本の近代彫刻史に優れた業績を残した旭川ゆかりの彫刻家中原悌二郎を記念した彫刻専門の美術館として、1994（平成 6）年に開設された。

悌二郎が残した全 12 点の彫刻を中心に、悌二郎に大きな影響を与えたロダン、萩原守衛の作品や旭川ゆかりの彫刻家の作品、さらに旭川市が 1970（昭和 45）年に「悌二郎の優れた業績を世間に広く知らせ、日本の彫刻界の発展に貢献する」ことを目的に創設した 「中原悌二郎賞」 の受賞作品等を所蔵している。

本館では、2 階での常設展示に加えて、1 階でも常設展として「木内克の造形世界」展を開催したほか、1 階企画展示室において収蔵作品による企画展を開催した。

1 常設展

- 会期 令和 6 年 4 月 1 日（月）～令和 7 年 3 月 31 日（月）
- 開催日数 316 日間
- 展示作品数 64 点（期間中一部展示替えあり）
- 観覧者数 4,289 人（一般 2,612 人／高校生 50 人／中学生以下 717 人／70 才以上市民 102 人／免除 808 人）

展示目録

No.	作 者 名	作 品 名	制作年	材 質	備 考
1	中原 悌二郎	女の顔	1910(明治 43)	ブロンズ	
2	中原 悌二郎	老人	1910(明治 43)	ブロンズ	
3	中原 悌二郎	エチュード	1914（大正 3）	ブロンズ	
4	中原 悌二郎	保田龍門像	1915（大正 4）	ブロンズ	
5	中原 悌二郎	三宅辨次郎像	1916（大正 5）	ブロンズ	
6	中原 悌二郎	坪井経蔵像	1916（大正 5）	ブロンズ	
7	中原 悌二郎	石井鶴三像	1916（大正 5）	ブロンズ	
8	中原 悌二郎	墓守老人像	1916（大正 5）	ブロンズ	
9	中原 悌二郎	乞食老人像	1918（大正 7）	ブロンズ	
10	中原 悌二郎	憩える女	1919（大正 8）	ブロンズ	
11	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919（大正 8）	ブロンズ	
12	中原 悌二郎	平櫛田中像	1919（大正 8）	ブロンズ	
13	オギ ユスト・ロダ ン	ジャン・デールの裸体習作	1886－89 頃	ブロンズ	
14	萩原 守衛	坑夫	1907(明治 40)	ブロンズ	
15	桜井 祐一	レダ	1976（昭和 51）	ブロンズ	第 10 回中原悌二郎賞
16	一色 邦彦	ひびき	1972（昭和 47）	ブロンズ	第 4 回中原悌二郎賞優秀賞

17	加藤 昭男	天を支える	1981 (昭和 56)	ブロンズ	
18	掛井 五郎	バンザイ・ヒル	1976 (昭和 51)	ブロンズ	第 7 回中原悌二郎賞優秀賞
19	山本 正道	風と少女	2000 (平成 12)	大理石	第 31 回中原悌二郎賞 代替作品
20	吉田 芳夫	白道	1976 (昭和 51)	ブロンズ	第 7 回中原悌二郎賞
21	佐藤 忠良	カンカン帽	1975 (昭和 50)	ブロンズ	第 6 回中原悌二郎賞
22	舟越 保武	原の城	1971 (昭和 46)	ブロンズ	第 3 回中原悌二郎賞
23	笹戸 千津子	若き立像'86	1986(昭和 61)	ブロンズ	第 18 回中原悌二郎賞優秀賞
24	寒川 典美	ほかい人	1969 (昭和 44)	テラコッタ	第 11 回中原悌二郎賞
25	朝倉 響子	ニケ／N I K E	1981 (昭和 56)	ブロンズ	第 13 回中原悌二郎賞優秀賞
26	柳原 義達	道標・鳩	1974 (昭和 49)	ブロンズ	第 5 回中原悌二郎賞
27	保井 智貴	untitled	2004 (平成 16)	漆, 麻布, 螺鈿, 岩絵具, 膠, スペクトルライト, 大理石	第 34 回中原悌二郎賞優秀賞
28	橋本 裕臣	丘の上のかたち	1991 (平成 3)	テラコッタ	第 22 回中原悌二郎賞優秀賞
29	木内 克	婦人誕生	1970 (昭和 45)	ブロンズ	第 1 回中原悌二郎賞
30	池田 宗弘	一番近くの巨人に突っこん だ	1983-97 (昭和 58-62)	真鍮	第 17 回中原悌二郎賞優秀賞
31	城田 孝一郎	着衣像	1974 (昭和 49)	ブロンズ	第 15 回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
32	細川 宗英	道元	1972(昭和 47)	ブロンズ, 義眼	第 3 回中原悌二郎賞優秀賞
33	福岡 道雄	九頭竜ダム	1976(昭和 51)	ポリエステル, 木	第 8 回中原悌二郎賞優秀賞
34	田中 薫	ビタガラスの鳥	1979(昭和 54)	プラスチック, モーター, 歯車	第 10 回中原悌二郎賞優秀賞
35	大平 實	Casa (家)	2007 (平成 19)	割って折った廃材, 楓のフレーム	第 36 回中原悌二郎賞
36	湯村 光	起源	1993 (平成 5)	黒御影石	第 24 回中原悌二郎賞優秀賞
37	中谷 ミチコ	Boat	2015 (平成 27)	硬質石膏	第 43 回中原悌二郎賞 代替作品
38	青木 野枝	原形質/2014	2014 (平成 26)	鉄, ウレタン, 布, 石膏	第 40 回中原悌二郎賞 代替作品
39	植松 奎二	置ー浮遊の場	2010 (平成 22)	銅, 真鍮	第 38 回中原悌二郎賞 代替作品
40	小清水 漸	レリーフ'80 - 4	1980 (昭和 55)	桂	第 11 回中原悌二郎賞優秀賞
41	鈴木 久雄	距離群	2002 (平成 14)	鍛造ステンレス鋼	第 35 回中原悌二郎賞 代替作品
42	保田 春彦	聚落を囲う壁 I	1994-95(平成 6-7)	鉄	第 26 回中原悌二郎賞
43	下田 治	かみつくめす犬	1997 (平成 9)	コールテン鋼	第 28 回中原悌二郎賞
44	古郡 弘	胞衣	2006 (平成 18)	木, 土, 竹, 綿布, 銅, 鉛, 紙	第 34 回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
45	吾妻 兼治郎	Y U - 8 4 7	1997 (平成 9)	ブロンズ	第 30 回中原悌二郎賞
46	清水 九兵衛	CORRELATION	1999 (平成 11)	アルミニウム, 陶	第 29 回中原悌二郎賞 代替作品
47	内田 晴之	重力環一地	2000 (平成 12)	ステンレススチール, マグネット, 塗料	第 29 回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
48	土谷 武	植物空間Ⅲ	1989 (平成元)	チーク	第 21 回中原悌二郎賞 代替作品
49	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち	1980 (昭和 55)	楠, 桜, 樺	第 11 回中原悌二郎賞優秀賞
50	広井 力	海の風	2000 (平成 12)	ステンレススチール	第 32 回中原悌二郎賞

51	小泉 俊己	水脈（図法－1）	2010（平成22）	鉄，木，ガラス，銅，鉛，植物 図鑑，胡桃	第37回中原悌二郎賞
52	深井 隆	逃れゆく思念	1989（平成元）	樟，金箔	第19回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
53	最上 寿之	ヘベレケ	1976(昭和51)	カスケード松	第12回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
54	岡本 敦生	地殻－鼓動	1996（平成8）	白御影石，マイクロプロセッ サ，太陽電池，LED	第27回中原悌二郎賞優秀賞
55	鈴木 実	妻の肖像	1979（昭和54）	ラワン	第16回中原悌二郎賞 代替作品
56	西野 康造	Sky Memory 'sprit'	2015(平成27)	チタン合金，チタン，ステンレ ス	第42回中原悌二郎賞 代替作品
57	江口 週	漂流と原型	1979（昭和54）	ケント紙，水彩，鉛筆	令和6年度新収蔵作品
58	江口 週	漂流と原型'77-M-2	1977（昭和52）	木（桜）	第8回中原悌二郎賞優秀賞
59	舟越 桂	そこだけの冬	1997（平成9）	楠に彩色，大理石，ブリキ	第26回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
60	舟越 桂	点の中の距離	2003（平成15）	楠に彩色，大理石	第33回中原悌二郎賞 代替作品
61	舟越 桂	蒼い湖	1997（平成9）	木版	
62	舟越 桂	教会とカフェのためにⅠ	1987（昭和62）	紙，エッチング	
63	舟越 桂	教会とカフェのためにⅡ	1987（昭和62）	紙，エッチング	
64	舟越 桂	静かな鏡のために	1987（昭和62）	紙，エッチング	

2 常設展②「木内克の造形世界」

■会期 令和6年5月25日（火）～令和7年2月24日（月・祝）

■開催日数 240日間

■展示作品数 23点

■観覧者数 3,359人（一般2,018人／高校生39人／中学生以下545人／70才以上市民70人／免除687人）

第1回中原悌二郎賞の受賞者である木内克は、戦後の日本彫刻界を代表する作家である。没後、本市は遺族から多数の作品原型の寄贈を受け、野外彫刻を含め80点以上を収蔵した。

それらは現在、「彫刻のまち旭川」のコレクションの中核を占める作品群の一つとなっている。本展では、その中から代表的な作品を展示し、木内の豊穡な造形世界を紹介した。

展示目録

No.	作 者 名	作 品 名	制作年	材 質
1	木内 克	女の顔	1930	ブロンズ
2	木内 克	座る裸婦	1935	ブロンズ
3	木内 克	女（手をつく女）	1957	ブロンズ
4	木内 克	坐る裸婦	1956	ブロンズ
5	木内 克	坐裸婦	1959	ブロンズ

6	木内 克	おとこ（腰かける）	1954	ブロンズ
7	木内 克	腰を下ろした裸婦	1956	紙、リトグラフ
8	木内 克	裸婦	1950	紙、鉛筆、水彩
9	木内 克	裸婦	1951	紙、鉛筆、水彩
10	木内 克	裸婦	1951	紙、鉛筆、水彩
11	木内 克	寝そべる裸婦	1960	ブロンズ
12	木内 克	トルソ	1960	ブロンズ
13	木内 克	ひねり・裸婦	1960	ブロンズ
14	木内 克	坐像	1962	ブロンズ
15	木内 克	猫	1960 頃	ブロンズ
16	木内 克	裸婦（右手ついた立像）	1961	ブロンズ
17	木内 克	女と猫	1963	紙、リトグラフ
18	木内 克	猫	—	紙、リトグラフ
19	木内 克	裸婦	1952	紙、墨
20	木内 克	裸婦	1963	紙、パステル
21	木内 克	人魚	1969	ブロンズ
22	木内 克	エーゲ海に捧ぐ	1972	ブロンズ
23	木内 克	露柱	1968	ブロンズ

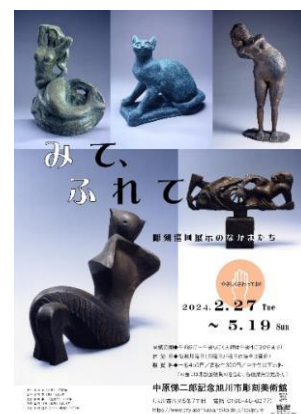
3 企画展「みて、ふれて、彫刻巡回展示のなかまたち」

- 会期 令和6年2月27日（火）～令和6年5月19日（日）
- 開催日数 72日間
- 展示作品数 36点
- 観覧者数 871人（一般525人／高校生10人／中学生以下170人／70才以上市民32人／免除134人）

市民に彫刻に親しむ機会を提供し、新たに彫刻に関心をもつ人々を増やすことを目的として、市内小中学校で実施している「彫刻巡回展示」で用いられている彫刻作品や関連する平面作品を紹介し、来館者が実際に作品に触れて体感できる展覧会を開催した。

本展により、市民が彫刻作品を鑑賞・体感する機会を広く持つことができ、彫刻をより身近に感じてもらう契機となった。また、かつて自校で「彫刻巡回展示」を体験した児童生徒にとっては、当時を回想しながら平面作品とともに再び鑑賞する場となった。同じ作品でも、学校とは異なる美術館の空間で鑑賞することで新たな魅力を発見し、作品をより深く楽しむ機会にもつながった。

こうした取り組みによって、市民の彫刻への関心と愛好の裾野をさらに広げる成果を得ることができた。



展示目録

No.	作 者 名	作 品 名	制作年	材質
1	木内 克	犬	1925（大正 14）	ブロンズ
2	木内 克	猫	1965（昭和 40）	ブロンズ
3	木内 克	鷺	1949（昭和 24）	ブロンズ
4	木内 克	アマゾース	1968（昭和 43）	ブロンズ
5	木内 克	鳩と樹	不明	ブロンズ
6	木内 克	カマキリ	1977（昭和 52）	リトグラフ
7	木内 克	猫	1961（昭和 36）	紙, パステル, クレヨン
8	木内 克	母子像	1968（昭和 43）	ブロンズ
9	木内 克	うなだれた裸婦	不明	ブロンズ
10	新田 実	青年立像	1955（昭和 30）	ブロンズ
11	藤川 叢三	坐像 11	1967（昭和 42）頃	ブロンズ
12	藤川 叢三	立像 5	1966（昭和 41）	ブロンズ
13	藤川 叢三	冬	1965（昭和 40）	ブロンズ
14	木内 克	裸婦 *059999 D-175	1950（昭和 25）	紙, 鉛筆, 水彩
15	木内 克	裸婦 *059994 D-163	1951（昭和 26）	紙, 鉛筆, 水彩
16	新田 実	男性裸像	不明	紙, 木炭
17	藤川 叢三	リトグラフ 12	1971（昭和 46）	紙, リトグラフ
18	藤川 叢三	リトグラフ 17	1973（昭和 48）	紙, リトグラフ
19	藤川 叢三	立像 2（コラージュ 7）	1972（昭和 47）	紙, パステル
20	山内 壮夫	踊り子	1973（昭和 48）	ブロンズ
21	山内 壮夫	婦人立像（着衣）	1968（昭和 43）	ブロンズ
22	山内 壮夫	ソンミの慟哭	1972（昭和 47）	ブロンズ
23	山内 壮夫	親子像	1955（昭和 30）	ブロンズ
24	山内 壮夫	母子像	1960 代	ブロンズ
25	山内 壮夫	牧神	1954（昭和 29）	ブロンズ
26	山内 壮夫	ソンミの慟哭 II	1972（昭和 47）	紙, 墨, 水彩
27	山内 壮夫	図案化された牧神像	1950 代	リトグラフ
28	山内 壮夫	花の母子像	1971（昭和 46）	紙, 水彩
29	山内 壮夫	婦人像	1960 代	紙, ペン, 水彩
30	加藤 顕清	馬	1953（昭和 28）	ブロンズ
31	木内 克	人魚	1969（昭和 44）	ブロンズ
32	山内 壮夫	鶴の舞	1969（昭和 44）	ブロンズ
33	板津 邦夫	星と月と	1972（昭和 47）	イチイ

34	加藤 顕清	読書	不明	紙、鉛筆
35	板津 邦夫	星と月と太陽	2005（平成 17）	紙、木版画
36	板津 邦夫	夜の樹々	2005（平成 17）	紙、木版画

4 企画展「開館 30 周年記念「旭川市彫刻美術館 30 年のポスター展」

- 会期 令和 6 年 10 月 4 日（金）～令和 6 年 11 月 26 日（火）
- 開催日数 46 日間
- 展示作品数 過去の展覧会ポスター 21 点
- 観覧者数 846 人（一般 419 人／高校生 12 人／中学生以下 124 人／70 才以上市民 26 人／免除 265 人）

旭川市彫刻美術館は、令和 6 年 6 月 1 日に開館 30 周年を迎えた。これを記念して、これまで当館で開催してきた展覧会のポスターの中から選りすぐりを掲示し、30 年間の歩みを振り返った。

ポスターという視覚的記録を通じて、各時代の企画展の特色や美術館活動の広がりを紹介し、来館者に当館の歴史と活動の積み重ねを再認識してもらう機会とした。



5 企画展「新収蔵品展 ―旭川ゆかりの彫刻家たち―

- 会期 令和 7 年 3 月 1 日（土）～令和 7 年 6 月 29 日（日）
- 開催日数 26 日間（R 6 年度分）
- 展示作品数 27 点
- 観覧者数 227 人（一般 182 人／高校生 3 人／中学生以下 17 人／70 才以上市民 9 人／免除 16 人）
（R 6 年度分）

旭川市彫刻美術館では、中原悌二郎作品をはじめ、荻原守衛・石井鶴三・堀進二など悌二郎に関連する作家の作品や、「中原悌二郎賞」受賞作家の作品、さらに地域ゆかりの彫刻家の作品を収集・所蔵している。また、旭川彫刻フェスタ実行委員会が制作した作品も収蔵の対象としている。

本展では、令和 5 年度および 6 年度にご遺族から寄贈を受けた、旭川ゆかりの彫刻家 関秋宏（3 点）と 佐藤範夫（4 点）の新収蔵作品を中心に紹介した。加えて、旭川にゆかりの深い作家たちの作品を併せて展示し、地域の彫刻界の広がりを示した。

『彫刻のまち』旭川は、中原悌二郎をはじめ、多くの著名な彫刻家を輩出してきた。新田実旭川市の野外彫刻第 1 号《青年像》（市役所前）の作者であり、旭川市文化賞や小熊秀雄賞の記念像・レリーフを手掛けた。加藤顕清は悌二郎作品を旭川にもたらすことに尽力し、現在も 7 条緑



道に野外彫刻が設置されている。さらに、田村審火・藤川叢三・北村善平・砂澤ビッキ・善本秀作・佐藤範夫ら旭川出身の彫刻家たちは、それぞれの個性を生かした数々の作品を残している。板津邦夫・神田比呂子・関秋宏らは、教育現場での活動を通じ地域に貢献しながら創作を続けた。

地域の支えを受け、令和6年6月1日に開館30周年を迎えた本館は、今回の展覧会を通して旭川市彫刻美術館の「旭川コレクション」の魅力を広く紹介した。

展示目録

No.	作 者 名	作 品 名	制作年	材 質	備考
1	新田 実	男性裸像	－	紙、木炭	
2	新田 実	青年立像	1955（昭和30）	ブロンズ	
3	新田 実	裸婦座像	1954（昭和29）	ブロンズ	
4	加藤 顕清	コタンのメノコ	－	紙、茶コンテ	
5	加藤 顕清	ベストム	1957（昭和32）	ブロンズ	
6	加藤 顕清	トルソ・女	1955（昭和30）	ブロンズ	
7	田村 審火	奥田千春像	1960（昭和35）	ブロンズ	
8	藤川 叢三	立像3	1963（昭和38）頃	ブロンズ	新
9	藤川 叢三	坐像17	1973（昭和48）	ブロンズ	新
10	藤川 叢三	リトグラフ6	1969（昭和44）	紙、リトグラフ	
11	藤川 叢三	テラコッタのための素描1	1975（昭和50）	紙、リトグラフ	
12	山内 壮夫	二人像	－	ブロンズ	
13	本郷 新	原生の譜	1967（昭和42）	ブロンズ	
14	砂澤 ビッキ	樹鈴	1977（昭和52）	木（セン）	
15	北村 善平	裸婦坐像	－	ブロンズ	
16	北村 善平	少年の夢 No.3	1996（平成8）	ブロンズ	
17	板津 邦夫	風神・雷神	1994（平成6）	木版	
18	板津 邦夫	雲と山	2005（平成17）	木版	
19	板津 邦夫	四角な渦巻	2006（平成18）	木版	
20	善本 秀作	序奏	－	ブロンズ	新
21	佐藤 範夫	K子	1987（昭和62）	合成樹脂	新
22	佐藤 範夫	女子学生	－	合成樹脂	新
23	佐藤 範夫	おさげ	1987（昭和62）	合成樹脂	新
24	佐藤 範夫	座像	1992（平成4）頃	合成樹脂	新
25	関 秋宏	北の娘	1982（昭和57）	石膏	新
26	関 秋宏	北の娘（学生）	1997（平成9）	FRP	新
27	関 秋宏	北の青年	2010（平成22）	FRP	新

Ⅱ 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）

旭川は「彫刻のまち」として広く知られている。ステーションギャラリーは、その魅力を来訪者に紹介するとともに、本館への来館や野外彫刻鑑賞のきっかけをつくることを目的として、平成 24 年度にオープンした。

本施設では、砂澤ビッキ《カムイミントラ》を常設展示するほか、旭川および旭川ゆかりの彫刻家の作品を中心に、当館収蔵作品による企画展を年間数回開催している。

1 企画展「第 19 回パレットのなかま展」

■会期 令和 6 年 3 月 26 日（火）～令和 6 年 5 月 25 日（土）

■開催日数 53 日間

■展示作品数 67 点

■観覧者数 1,350 人（一般 1,193 人／高校生以下 140 人／団体 17 人）

■主催 旭川市教育研究会図工美術部・上川造形教育研究会・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市教育研究会図工美術部及び上川造形教育研究会、並びに当館の連携・協力により、地域にゆかりのある教職員及びその退職者が制作した作品を紹介する「パレットのなかま展」を開催した。

2 企画展「川からのまちづくり展 「北彩都あさひかわ」の 30 年」

■会期 令和 6 年 5 月 28 日（火）～令和 6 年 6 月 30 日（日）

■開催日数 32 日間

■観覧者数 1,407 人（一般 1,193 人／高校生以下 41 人／団体 173 人）

■主催 公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 旭川地区会
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

■協賛 一般社団法人 北海道建築士会 旭川支部、一般社団法人 北海道建築士事務所協会 旭川支部

■協力 高見公雄（法政大学教授／都市計画家）、内藤廣（東京大学名誉教授／建築家）、篠原修（東京大学名誉教授／かわ・まち計画研究会 会長）

■後援 旭川市、北海道上川総合振興局、旭川開発建設部、北海道旅客鉄道株式会社旭川支社、北海道新聞旭川支社、北のまち新聞社「あさひかわ新聞」、NHK 旭川放送局、旭川ケーブルテレビ株式会社「ポテト」、旭川家具工業協同組合

JR 旭川駅周辺に広がる旧国鉄跡地を活用して、新たな都心を形成する「北彩都あさひかわ」プロジェクトが、2014 年にインフラ整備を終えて 14 年。この「北彩都あさひかわ」事業がたどったプロセスを振り返った。

3 企画展「Designers from A to Z ―織田コレクションから―」展

■会期 令和 6 年 7 月 3 日（水）～10 月 27 日（日）（9 月 23 日（月）までの会期だったが延長）

- 開催日数 109 日間
- 観覧者数 3,672 人（一般 3,195 人／高校生以下 257 人／団体 220 人）

ものとデザイナーを併せて覚えることは難しいが、今回は覚えるきっかけとして、アルファベット A から Z まで一人ずつデザイナーをあげ、彼らがデザインした椅子を織田コレクションから紹介した。

4 企画展「北の造形」展 ～鈍色(にびいろ)の空と遠くの山

- 会期 令和 6 年 11 月 1 日（金）～令和 6 年 12 月 15 日（日）
- 開催日数 39 日間
- 展示作品数 19 点
- 観覧者数 973 人（一般 882 人／高校生以下 58 人／団体 33 人）

四季の変化が鮮明で折々の美しい景色が広がる北海道の雄大な自然は人々を惹きつける魅力に富み、観光需要の高まりによってエコツーリズムやアドベンチャートラベルなどの商品開発が盛んに行われるなど、近年では北海道への関心は国際的にも高まりを見せている。芸術の分野においても北海道の自然や様相は作家たちの創作意欲を掻き立てる存在であり、風景や人物を題材として北海道の気候風土を表現した作品が数多くの画家や彫刻家によって制作されている。

北海道を造形した作品には、北国に暮らす私たちの目や心に馴染んだ景観や風情が能く表されている。今にも雪が舞い落ちてきそうな鈍色(にびいろ)の重い空、見渡す限り続く広大な田畑と遠くに青く霞む山の連なり、言葉だけでなく立ち振る舞いすら寡黙で朴訥とした人物、といった有様に北国の姿や北海道らしさが投影され、私たちは作品が織りなす世界を身近なものとして感じながら鑑賞している。

旭川市教育委員会所蔵の絵画作品と旭川市彫刻美術館が収蔵する彫刻作品から、北国の人々が共有するイメージを備えた作品たちを精選して展示し、作品が纏う北の空気や気配を紹介した。

展示目録

No.	作 者 名	作 品 名	制作年	材 質
【絵画】				
1	朝倉 力男	冬の山	1937（昭和 12）	油彩、キャンバス
2	村山 陽一	郊外初秋	1947（昭和 22）	油彩、キャンバス
3	村山 陽一	風景	不詳	油彩、キャンバス
4	村山 陽一	風景	不詳	油彩、キャンバス
5	村山 陽一	風景	1947（昭和 22）	油彩、キャンバス
6	西村 喜久子	東川風景	不詳	油彩、キャンバス
7	村田 丹下	石狩川上流	1958（昭和 33）	油彩、キャンバス
8	高橋 北修	秋の丘	不詳	油彩、キャンバス

9	高橋 北修	大雪山	1970（昭和 45）	油彩、キャンバス
10	小浜 亀角	不詳	不詳	紙本彩色
11	小浜 亀角	不詳	不詳	紙本彩色
【彫刻】				
1	本田 明二	マント・風	1985（昭和 60）	木
2	善本 秀作	石狩の夏	1976（昭和 51）	木
3	新田 実	鹿	1963（昭和 38）	ブロンズ
4	加藤 顕清	コタンのアイヌ	1941（昭和 16）	ブロンズ
5	本田 明二	馬	1971（昭和 46）	木
6	本田 明二	夷笛ノチクサ	1980（昭和 55）	ブロンズ
7	本田 明二	えものを背負う男	不詳	木
8	北村 善平	ある風景	1995（平成 7）	ブロンズ

5 企画展「Design Inspirations From Small Beginnings to Masterpieces — 織田コレクションから —」

- 会期 令和 6 年 12 月 19 日（木）～令和 7 年 3 月 2 日（日）
- 開催日数 58 日間
- 観覧者数 1,440 人（一般 1,309 人／高校生以下 131 人／団体 0 人）
- 主催 旭川市教育委員会
- 主管 旭川家具工業協同組合
- 協力 織田憲嗣、織田コレクション協力会、東川町

織田コレクションから、2023 年に生誕 125 周年を迎えたフィンランドの巨匠 アルヴァ・アアルトとフィンランドデザインの名作を展示した。

6 企画展「「おかえり」彫刻巡回展示の作品たち展」

- 会期 令和 7 年 3 月 7 日（金）～令和 7 年 6 月 1 日（日）
- 開催日数 21 日間（R6 年度分）
- 観覧者数 516 人（一般 471 人／高校生以下 45 人／団体 0 人）（R6 年度分）
- 主催 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館では、平成 14 年度から「彫刻巡回展示」を実施している。これは所蔵する彫刻作品を市内小中学校などに貸し出し、児童生徒や保護者、地域の人々が身近に彫刻に触れられる機会を提供する事業である。作品は 4 グル

ープに分けられ、年間5期・計20校を巡回するほか、夏休みには公民館などの公共施設でも展示されてきた。触れて鑑賞できる点も特徴のひとつである。

今回の企画展では、巡回を終えて美術館に戻ってきた作品を一堂に展示し、市民や観光客に広く紹介した。これにより、彫刻を身近に感じ関心を高めてもらうとともに、小中学校での取組を知ってもらう機会ともなった。

かつて自校で巡回展示を体験した児童生徒にとっては、当時を回想しながら関連する平面作品とあわせて鑑賞したり、他グループの作品と比較したりすることで、新たな魅力を発見する場となった。また、6月から12月まで市内各地を巡回してきた作品たちが「おかえり」として再びギャラリーに集い、次の「いってらっしゃい」に向けて旅立つまでの期間、多くの来館者に親しんでいただいた。



教育普及活動

1 旭川彫刻散歩

市民が彫刻に親しむ機会を設け、彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に実施している。令和6年度は、講師の解説を聞きながら、彫刻美術館ステーションギャラリー及びJR旭川駅構内に設置されている作品と、買物公園～常磐公園に設置されている彫刻作品を鑑賞した。

■開催日 令和6年10月20日（日）

■参加者数 20人

■見学場所 彫刻美術館ステーションギャラリー・JR旭川駅構内・買物公園・常磐公園

■講師 新明 英仁氏（前市立小樽美術館館長、文学博士）

2 こども彫刻教室

（1）開館30周年記念こども彫刻教室「(何ができるかな?) くるっとまわして! 下からそうぞうする形」

木材の端材をグルーガンで接着して形を組み上げる工作を行った。

■開催日 令和6年7月6日（土） 午前10時～正午

■参加者数 15人（こども10人、保護者5人）

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 岩永 啓司氏（北海道教育大学旭川校 准教授、彫刻家）



こども彫刻教室（1）

（2）開館30周年記念こども彫刻教室「今日から君も彫刻家! おもしろオブジェを作ってみよう」

自然の木の枝や木材などをグルーガンやボンドで組み合わせ、自由に作品を制作した。

■開催日 令和6年7月13日（土） 午前10時～正午

■参加者数 15人（こども9人、保護者6人）

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 藤井 忠行氏（彫刻家）



こども彫刻教室（2）

（3）「シマエナガの木のしおり」

シマエナガ型の木の板を彫刻刀で彫り、色を塗ってしおりを制作した。

■開催日 令和6年8月3日（土） 午前10時～正午

■参加者数 17人（こども8人、保護者9人）



こども彫刻教室（3）

- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 菅野 秀雄氏（木彫家）

（４）「流して固めて削って、石こうでツリーをつくろう！」

違う形の型にそれぞれ石こうを流し固め、組み合わせ、削り、クリスマスツリーを制作した。

- 開催日 令和 6 年 11 月 9 日（土） 午前 10 時～11 時 45 分
- 参加者数 20 人（こども 11 人、保護者 9 人）
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 堤 生野氏（野焼きオブジェ作家）



こども彫刻教室（４）

3 彫刻教室

（１）みんなの彫刻教室「くまのマスコット」

クマの頭部を彫刻刀で彫り、裏面に磁石やブローチ用のピンなどを貼り付けられる木製マスコットを制作した。

- 開催日 令和 6 年 8 月 4 日（日） 午前 10 時～正午
- 参加者数 13 人（参加者 9 人、保護者 4 人）
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 上西 捷敏氏（木彫家）



彫刻教室（１）

（２）開館 30 周年記念おとな彫刻教室「テラコッタで作るたてもののランプシェード」

テラコッタを使い、彫刻美術館の建物などを参考にして、たてものの形のランプシェードを制作した。

- 開催日 令和 6 年 9 月 28 日（土） 午前 9 時 30 分～正午
- 参加者数 12 人
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 堤 生野氏（野焼きオブジェ作家）



彫刻教室（２）

（３）おとな彫刻教室「キーホルダー制作で簡単鋳造体験」

型となるゴム板に好きな形を描きカッターで切り取った後、ゴム板をベニヤ板で挟み、湯口から溶かした錫合金を流し込む。冷え固まったら金ヤスリやサンドペーパーで形を整え、研磨剤で磨き上げ、金具をつけて完成させた。

- 開催日 令和 6 年 10 月 26 日（土） 午前 10 時～午後 2 時
- 参加者数 16 人
- 会場 彫刻美術館研修室
- 講師 椎名 澄子氏（彫刻家）



彫刻教室（３）

彫刻巡回展示事業

当館が収蔵する彫刻作品を、市内の児童生徒や保護者、地域の方々が身近な場所で鑑賞できる機会を提供し、彫刻への理解を深めるとともに、「彫刻のまち旭川」を広く知ってもらうことを目的として、平成 14 年度から本事業を継続している。

平成 22 年度からは、市内小中学校に加えて特別支援学校も対象とし、より幅広い子どもたちが鑑賞の機会を得られるようにしている。

さらに、平成 21 年度からは旭川地域連携アートプロジェクトの一環として、巡回展示を行った学校を対象に、当館職員等が出向き、展示作品を活用した「出前授業」を実施している。

※旭川地域連携アートプロジェクト……北海道教育大学旭川校造形教育研究室の呼びかけにより平成 21 年 2 月に発足。

旭川市教育研究会図工・美術部の教員・北海道立旭川美術館（彫刻巡回展示事業には不参加）・旭川市彫刻美術館の 4 者が連携し、美術館を中心とした鑑賞教育の実践や教育普及活動に広く取り組んでいる。

■展示実施校 市内小中学校（4 校×5 期＝20 校 総児童生徒数 4,160 人）

■展示期間 第Ⅰ期 令和 6 年 6 月 27 日（木）～令和 6 年 7 月 25 日（木）

市有施設期 令和 6 年 7 月 25 日（木）～令和 6 年 8 月 22 日（木）

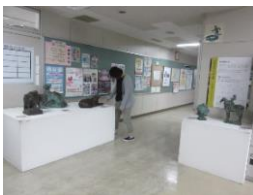
第Ⅱ期 令和 6 年 8 月 22 日（木）～令和 6 年 9 月 19 日（木）

第Ⅲ期 令和 6 年 9 月 19 日（木）～令和 6 年 10 月 17 日（木）

第Ⅳ期 令和 6 年 10 月 17 日（木）～令和 6 年 11 月 14 日（木）

第Ⅴ期 令和 6 年 11 月 14 日（木）～令和 6 年 12 月 12 日（木）

■市有施設展示 学校の夏季休暇期間には、毎年市有施設等に作品を展示し、より広く市民への鑑賞の場にした。



旭川聾学校



緑が丘地域活動センター



大有小学校

■展示作品と展示実施校

グループ	作者名・作品名	第Ⅰ期 6/27(木)～7/25日(木)	市有施設期 7/25(木)～8/22(木)	第Ⅱ期 8/22(木)～9/19(木)	第Ⅲ期 9/19(木)～10/17(木)	第Ⅳ期 10/17(木)～11/14(木)	第Ⅴ期 11/14(木)～12/12(木)
第1グループ 「木内克のどうぶつ展」 5点	木内 克<犬> 木内 克<猫> 木内 克<鷺> 木内 克<アザヘス> 木内 克<鳩と樹> 計5点	東五条小学校	緑が丘地域活動センター 「グリーンバル」	旭川中学校	旭川豊学校	旭川盲学校	愛宕東小学校
第2グループ 「山内壮夫の世界展 ～具象から抽象へ～」 6点	山内壮夫<踊り子> 山内壮夫<婦人立像(着衣)> 山内壮夫<ソシミの微笑> 山内壮夫<親子像> 山内壮夫<母子像> 山内壮夫<牧神> 計6点	旭川養護学校	東旭川公民館(本館)	近文第二小学校	中央中学校	大有小学校	神楽岡小学校
第3グループ 「旭川と彫刻家展 ～具象と抽象へ～」 4点	加藤銀清<馬> 木内 克<人魚> 山内壮夫<鶴の舞> 板津邦夫<星と月と> 計4点	東陽中学校	末広公民館	青雲小学校	朝日小学校	日章小学校	西御料地小学校
第4グループ 「ひと・かたち・いろいろ展」 6点	木内 克<母子像> 木内 克<うなだれた裸婦> 前田 実<青年立像> 藤川義三<坐像11> 藤川義三<立像5> 藤川義三<冬> 計6点	東町小学校	愛宕公民館	神居中学校	江丹別小学校	嵐山中学校	陵雲小学校

■出前授業実施校

出前授業実施校				
実施日	実施校		対象	参加人数
7月2日(火)	東町小学校		第3学年	36人
7月3日(水)	東陽中学校		第1学年	113人
7月9日(火)	東五条小学校		第5学年	50人
8月29日(木)	旭川中学校		美術部	23人
9月11日(水)	神居中学校		第1学年	51人
10月4日(金)	朝日小学校		第5学年	35人
10月10日(木)	江丹別小学校		第1、2、4、6学年	6人
10月11日(金)	旭川豊学校		第2、3学年	3人
10月22日(火)	嵐山中学校		第3学年	2人
11月13日(水)	大有小学校		第4学年	41人
11月19日(火)	神楽岡小学校		第4学年	79人
11月20日(水)、27日(水)	愛宕東小学校		第1、6学年	151人
11月22日(金)	陵雲小学校		第1学年	89人
11月28日(木)	西御料地小学校		第4学年	51人

中原悌二郎賞関係事業

本市では1970(昭和45)年に中原悌二郎賞を創設し、優れた作品を発表した彫刻家に賞を贈り、その受賞作品(または代替作品)を収蔵してきた。平成15年度からは隔年開催のビエンナーレ方式となり、平成21年度からは「優秀賞」を廃し「中原悌二郎賞」のみを選考対象としている。

令和6年度は、第44回中原悌二郎賞に向けて、受賞作品の選考準備を進めた。

旭川彫刻フェスタ

「旭川彫刻フェスタ」は、平成 12 年度に市民各界の代表によって組織された実行委員会が、彫刻に親しんでもらうことを目的に開催してきた。本市は、この事業を「彫刻のまちづくり」を推進する上で重要な取り組みと位置づけ、負担金を支出している。

令和 6 年度は、これまでに制作された作品の修繕を実施するとともに、今後の開催に向けて内容の検討を行った。

- 修繕対象作品 佐藤晃<Surface－表層－>。
 - ・修繕内容 キャプションの破損に伴い、更新を行った。
- 修繕対象作品 UNITO2<はじまりの舟>
 - ・修繕内容 劣化が進行している部材の加工作業等を行った。

野外彫刻維持管理事業

旭川市が所有する野外彫刻は、平成 13 年度から当館が一括して管理しており、補修や写真資料の作成などの維持管理を行っている。

また、野外彫刻を良好な状態で維持することを目的に、平成 14 年 7 月に発足したボランティア組織「旭川彫刻サポート隊」による清掃活動や周辺環境整備の事務局を当館が担当している。

1 彫刻清掃ボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」

- 募集方法 令和 5 年度からの継続参加者に加え、市民広報誌上で新規参加者を募集した。
- 総会 令和 6 年 5 月 26 日（日）
- 対象作品 市所有の野外彫刻 74 点（旭川市彫刻美術館前庭展示作品を含む）
- 会員数 101 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

2 その他の野外彫刻清掃

- 旭川市立中央中学校 旭川市立中央中学校 1 学年の「総合的な学習時間」の一環として、買物公園や常磐公園にある野外彫刻の清掃活動を行った。
- 実施日 令和 6 年 7 月 11 日（木）
- 参加者数 生徒数約 115 人・教員若干名・彫刻美術館 3 人
- 清掃作品 市中心部設置作品 27 点

3 野外彫刻修繕

- 修繕対象作品 神田比呂子<トランペットのおんな>（大正橋公園）
 - ・修繕内容 作品と台座の間のコーキング補修作業を行った。
- 修繕対象作品 中井延也<開拓のイメージ>（7条買物公園）
 - ・修繕内容 高所作業車による安全点検及び、錆び落とし等の簡易的な修復等を実施した。
- 修繕対象作品 高橋清<人 No.13>（忠別橋）
 - ・修繕内容 作品本体の亀裂を石材補修材で修復した。
- 修繕対象作品 佐藤忠良<若い女>（2条買物公園）<若い女・夏>（5条買物公園）
 - ・修繕内容 キャプションの点字部分にひび割れ・摩耗があり識字が困難であったため、更新を行った。

その他の事業

1 開館 30 周年記念 施設無料開放日

6月1日の「開館 30 周年記念日」に、施設を無料開放した。

■観覧者数 75 人

2 旭川市民の日記念 施設無料開放日

8月1日の「旭川市民の日」を記念し、施設を無料開放した。

■観覧者数 24 人

3 文化の日イベント 施設無料開放日

11月3日の「文化の日」にあわせ、施設を無料開放した。

■観覧者数 72 人

4 こども来館促進事業

市内の小学校の児童及び教員を当館及び井上靖記念館にバスで送迎し、授業の一環として、館内の解説及び見学会を実施した。

日 時	学 校 名	人 数
令和 6 年 1 1 月 1 9 日（火）	旭川市立朝日小学校	3 8 名（内訳：5 年生 3 5 名，教員 3 名）
令和 7 年 2 月 6 日（木）	旭川市立緑が丘小学校	2 2 名（内訳：3 年生 2 0 名，教員 2 名）
令和 7 年 2 月 2 6 日（水）	旭川市立西御料地小学校	5 0 名（内訳：6 年生 4 7 名，教員 3 名）
令和 7 年 2 月 2 8 日（金）	旭川市立東栄小学校	4 6 名（内訳：6 年生 4 3 名，教員 3 名）

印刷物の発行

印刷物名	判型	発行部数	発行年月
旭川野外彫刻たんさくマップ	A2 判変形両面 2c	1,800	R7.3

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会は、旭川市彫刻美術館条例に基づき設置され、10名の委員で構成されている。
令和6年度は会議を開催し、当館の運営に関する必要事項の協議に加え、多くの貴重な意見が提出された。

■委員名簿（任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日）

会長	南部 正人	副会長	岩永 啓司		
委員	高橋 健史	西村 徳清	野上 義秀	山下 真実	村田 典子
	佐藤 公哉	間藤 洋子	成田 伸一		

■開催状況

開催日 令和6年8月28日（水）

内容 1 令和5年度事業報告について
2 令和6年度事業計画（案）について

管理作品

当館では、中原悌二郎の現存する全12作品をはじめ、中原に大きな影響を与えたロダンや萩原守衛、中原の友人であった石井鶴三や堀進二らの近代彫刻作品、歴代の中原悌二郎賞受賞作家の作品、さらに北海道や旭川にゆかりの深い加藤顕清や山内壮夫らの作品を、彫刻および平面作品として収蔵している。これらの収蔵作品は、近代から現代に至る日本彫刻界の変遷を通観できる、充実したコレクションとなっている。

■管理作品内訳（令和7年3月31日現在）

管理作品総数 1,317 点

- 1 収蔵作品 1,245 点
 - (1) 彫刻作品 341 点
 - ア 中原悌二郎作品 12 点
 - イ 中原悌二郎賞受賞作品 81 点
 - ウ 木内克作品 78 点
 - エ 加藤顕清作品 18 点
 - オ 山内壮夫作品 27 点
 - カ 藤川叢三作品 42 点
 - キ その他の作品 83 点

(2) 素描・版画等平面作品 904 点

2 野外彫刻作品 72 点

1 令和 6 年度新管理作品

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法（高×幅×奥行cm）	備考
1	佐藤 範夫	K 子	1987	合成樹脂	37.5×24.5×25.2	寄贈
2	佐藤 範夫	おさげ	1987	合成樹脂	70.5×18.1×20	寄贈
3	佐藤 範夫	女子学生	—	合成樹脂	40.9×22.2×27.5	寄贈
4	佐藤 範夫	座像	1992 頃	合成樹脂	53.5×23.6×28	寄贈
5	善本 秀作	序奏	—	ブロンズ	41.5×25.7×24.3	所管替
6	藤川 叢三	立像 3	1963 頃	ブロンズ	37.5×14.7×13.5	寄贈
7	藤川 叢三	立像 2	1963 頃	ブロンズ	36.5 ×12.4×10.7	寄贈
8	藤川 叢三	坐像 1 7	1973	ブロンズ	85×34×47	寄贈
9	藤川 叢三	イタリア留学中の作品 1	1963 頃	ブロンズ	15.5×19×13.5	寄贈
10	藤川 叢三	イタリア留学中の作品 2	1963 頃	ブロンズ	15×11×13	寄贈
11	藤川 叢三	立像 6	1966	ブロンズ	55×23×17.5	寄贈
12	江口 週	漂流と原型	1979	ケント紙, 水彩, 鉛筆	36.6×36.0	寄贈



1



2



3



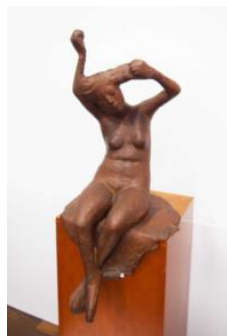
4



6



7



8



9



10



11



12

2 貸出し作品等

(1) 展覧会等への貸出し

展覧会名	貸出し先	作者名	作品名	貸出し期間
企画展 「こどもとおとなの 美術展 2024」	苫小牧市美術博物館 (苫小牧市末広町3丁目9 番7号)	柳原義達	道標・鳩	R6.9.1～R6.12.15
		土屋武	虫Ⅲ-a	
		砂澤ビッキ	樹蝶	
		三沢厚彦	Animal 2017-05	
		木村賢太郎	ひそかな笑い	
		深井隆	逃れゆく思念	
		舟越桂	そこだけの冬	
		保井智貴	untitled 2004 年	
		西野康造	アルトサックス	
		向井良吉	GARONE の旅から	
		岡本敦生	地殻-鼓動	

(2) 公共施設等における展示 (彫刻巡回展示事業での展示については p.17 に掲載)

展示施設	展示場所	作者名	作品名	展示期間
旭川市民文化会館	ロビー	木内 克	母子像	R5.4.1～R6.3.31
旭川市大雪クリスタルホール	1 階ロビー	佐藤 忠良	帽子・立像	R5.4.1～R6.3.31
		井上 武吉	my sky hole 91-6-2	R5.4.1～R6.3.31
		山内 壮夫	鶴の舞	R5.4.1～R6.3.31
		森川 亮輔	空域 No.2	R5.4.1～R6.3.31
		木内 克	エーゲ海に捧ぐ	R5.4.1～R6.3.31
永山市民交流センター	ロビー	井田 勝己	月に向かって進め	R5.4.1～R6.3.31
旭川市東旭川公民館 (本館)	1 階ロビー	木内 克	母子像	R5.4.1～R6.3.31

旭川市中央図書館	2 階ロビー	木内 克 山内 壮夫	人魚 うずくまる	R5.4.1～R6.3.31 R5.4.1～R6.3.31
	1 階ロビー	田村 審火	舞踏構想 S	R5.4.1～R6.3.31
JR 旭川駅	北側通路	江口 週	繋がれたアーチ	R5.4.1～R6.3.31
		若林 奮	DaisyⅢ-2	R5.4.1～R6.3.31
	西コンコース	安田 侃	天秘	R5.4.1～R6.3.31
	東口	神田比呂子	Le Lac	R5.4.1～R6.3.31
旭川市総合庁舎	2 階秘書課応接室	加藤 顕清	女の首	R5.4.1～R6.3.31
		加藤 顕清	ペステム	R5.4.1～R6.3.31
		佐藤 忠良	三浦綾子	R5.4.1～R6.3.31
	2 階秘書課応接室前	木内 克	水盤	R5.4.1～R6.3.31

ボランティアの会「みゅうず」

ボランティアの会「みゅうず」は、当館の運営を支援する目的で、平成 6 年 6 月に美術好きの市民らによって創設された。当館のオープンに合わせて設立され、現在は約 15 人の会員を擁している。会員は館内ラウンジに喫茶・物販コーナーを設置するとともに、美術館の鑑賞研修や当館事業への積極的な参加など、多岐にわたる活動を行っている。

「みゅうず」が運営する喫茶コーナーは来館者の憩いの場となっており、コーヒーや紅茶などのメニューは美味しく、かつ手頃な価格で提供されて好評を得ている。また、ミュージアム・グッズとして、中原悌二郎関係の書籍、当館収蔵作家の作品集、オリジナル絵葉書のほか、木内克や加藤昭男制作のペンダント、佐藤忠良制作のブローチ、池田宗弘制作の栓抜きなども販売している。

観覧者数

1 彫刻美術館年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一 般	高校生	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	年度計
平成 6 年度	18,432	336	2,986		3,956	25,710
平成 7 年度	13,065	139	2,735		3,952	19,891
平成 8 年度	13,970	285	3,063		3,346	20,664
平成 9 年度	14,075	207	2,422		2,864	19,568
平成 10 年度	18,495	692	2,107			21,294
平成 11 年度	16,817	176	2,238			19,231
平成 12 年度	15,915	298	2,163			18,376
平成 13 年度	15,375	160	2,284			17,819

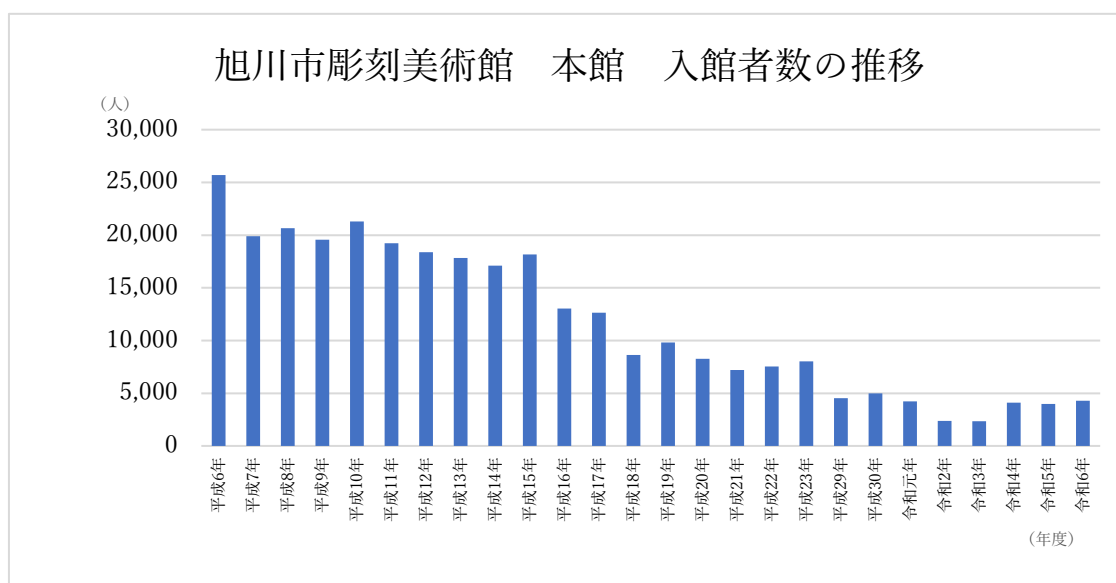
平成 14 年度	15,014	178	1,910			17,102
平成 15 年度	16,210	333	1,611			18,154
平成 16 年度	10,886	346	1,808			13,040
平成 17 年度	10,944	96	1,608			12,648
平成 18 年度	4,937	90	1,408		2,195	8,630
平成 19 年度	5,065	67	1,794		2,894	9,820
平成 20 年度	4,653	39	1,273		2,289	8,254
平成 21 年度	3,825	29	1,336		2,000	7,190
平成 22 年度	4,048	62	1,559		1,856	7,525
平成 23 年度	4,316	93	1,584		2,018	8,011
平成 29 年度	1,135	11	116		3,276	4,538
平成 30 年度	3,028	21	247		1,700	4,996
令和元年度	2,535	21	391		1,281	4,228
令和 2 年度	1,456	20	387		501	2,364
令和 3 年度	1,284	29	465	63	517	2,358
令和 4 年度	2,354	31	716	112	887	4,100
令和 5 年度	2,680	35	476	117	679	3,987
令和 6 年度	2,612	50	717	102	808	4,289

※平成 6 年 6 月 1 日開館 ※平成 10 年度～平成 17 年度は観覧料無料化のため、免除規定を廃止

※平成 24 年 2 月 1 日から長期休館 ※平成 29 年 10 月 8 日より再開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館



2 彫刻美術館ステーションギャラリー年度別観覧者数の推移

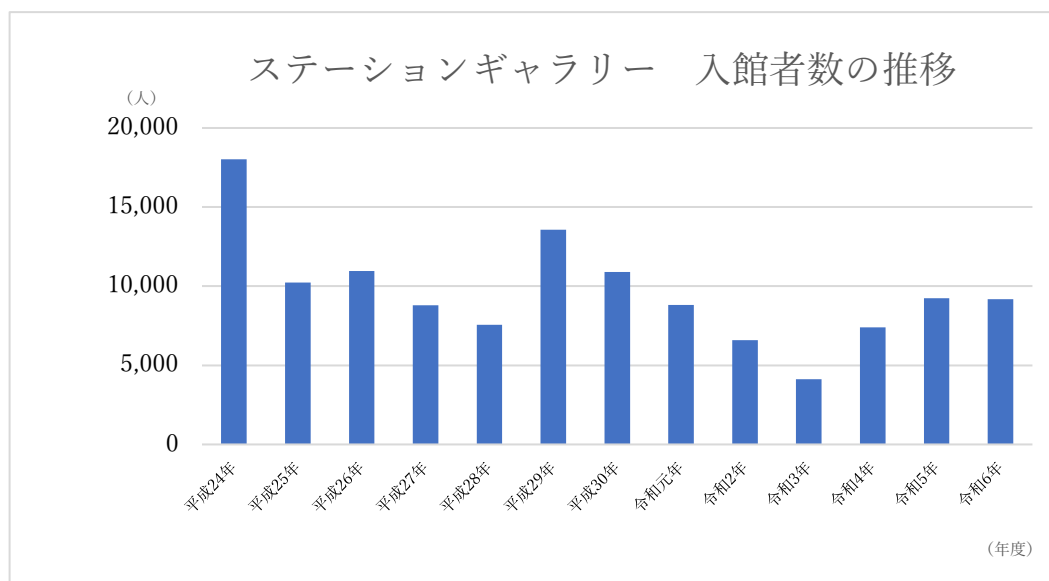
(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	年度計
平成 24 年度	15,407	1,538	1,069	18,014
平成 25 年度	8,572	823	843	10,238
平成 26 年度	8,841	788	1,339	10,968
平成 27 年度	7,383	701	707	8,791
平成 28 年度	6,341	511	702	7,554
平成 29 年度	11,781	795	984	13,560
平成 30 年度	9,881	643	385	10,909
令和元年度	7,840	533	452	8,825
令和 2 年度	5,945	494	144	6,583
令和 3 年度	3,725	338	68	4,131
令和 4 年度	6,771	490	137	7,398
令和 5 年度	8,279	669	299	9,247
令和 6 年度	8,100	646	443	9,189

※平成 24 年 4 月 21 日開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館



3 令和6年度 彫刻美術館月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高 校	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	月 計	累 計
4 月	196	4	45	10	52	307	307
5 月	251	3	18	21	39	332	639
6 月	216	3	141	14	123	497	1,136
7 月	269	3	93	2	61	428	1,564
8 月	374	11	45	8	95	533	2,097
9 月	288	2	27	5	74	396	2,493
10 月	276	10	26	19	77	408	2,901
11 月	204	2	116	8	199	529	3,430
12 月	85	1	63	1	32	182	3,612
1 月	113	2	8	5	8	136	3,748
2 月	158	6	118	0	32	314	4,062
3 月	182	3	17	9	16	227	4,289
合 計	2,612	50	717	102	808	4,289	4,289

4 令和6年度 彫刻美術館ステーションギャラリー月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	月 計	累 計
4 月	561	69	5	635	635
5 月	621	50	20	691	1,326
6 月	1,061	36	165	1,262	2,588
7 月	705	45	10	760	3,348
8 月	899	105	43	1,047	4,395
9 月	839	60	28	927	5,322
10 月	752	47	139	938	6,260
11 月	640	51	33	724	6,984
12 月	457	35	0	492	7,476
1 月	467	34	0	501	7,977
2 月	562	56	0	618	8,595
3 月	536	58	0	594	9,189
合 計	8,100	646	443	9,189	9,189

【職員名簿】（R7.3.31）

彫刻美術館長	高橋	伸				
職員	川田	麻友	白杵	朱莉		
会計年度任用職員	関口	千代絵	安藤	春香	井田	千賀
	関口	佳苗	前田	洋美	東	ちぐさ
	古田	佐登美	木戸	美千代	佐藤	まち子
	福井	志津子	藤田	則子	中山	富美代

ステーションギャラリー

会計年度任用職員	三浦	美津子	渡邊	昇	清水	由香里	徳重	弘美	長谷川	康弘
	松村	有希子	岩本	優子	須田	益枝	八重樫	晶子		

令和 6（2024）年度

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館年報

令和 7（2025）年 9 月 1 日発行

編集・発行 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光 5 条 7 丁目

TEL 0166-46-6277 FAX 0166-46-6288
